

ハリス・アソシエイツ社の ご紹介

HARRIS ASSOCIATES L.P.

We believe superior, long-term results are achieved through investing as owners in quality companies that can be purchased at a significant discount to their true economic value.



1976年 米国シカゴにて設立

現在のハリス・アソシエイツ社(以下、ハリス社)は、1976年にシカゴで設立されましたが、その歴史は、アーヴィング・ハリス氏(Irving B. Harris、以下、ハリス氏)のファミリーオフィスに遡ります。彼は、1940年代、ヘアケア会社・トニ・ホーム・パーマネット・カンパニーを共同で設立し、その会社を1948年にジレット・セーフティー・レザー・カンパニーに売却します。ジレットは、あの有名なカミソリのブランドです。ハリス氏はこの売却した資金と、家族や友人から募った資金を元手に、資産運用に乗り出します。複数の事業経営を経て、彼は自分の家族の資産管理だけに専念することにし、外部の資産管理を創業パートナー6人へ引き継ぎ、1976年にハリス社が誕生します。成功するかどうかは分からない船出のなか、ハリス氏は、自分の名前の権利を300ドルで会社に売却し、会社が成功しなかった場合は会社を買い戻す、という条件でハリス社はスタートします。

以降のハリス社は、見事成功を収め、パートナーは優秀な人材を雇い、現在の礎を築いていきます。



全米人口3位のシカゴ。手前はミシガン湖。

ハリス社のあるシカゴはイリノイ州にあります。ニューヨーク、ロサンゼルスに次ぐ、米国で3番目に人口の多い都市です。このシカゴに行ってみると、各地にHarrisの名前が付いていることに気がつきます。例えば1,499席あるハリスシアターやシカゴ大学内のハリス・スクール。アーヴィング・ハリス氏は、放送局WTTWなどの設立にも携わり、慈善活動家としても、人生の多くを捧げました。

さてハリス社に話を戻します。1976年創業当時のハリス社は、当初、限られた投資家向けの資産運用会社でしたが、その後、個人・年金・法人向けにも投資家を広げて、1991年に米国のミューチュアル・ファンドである「The Oakmark Fund(米国株式)」を設定、翌1992年にはデビッド・G・ヒーロ氏を招聘して「The Oakmark International Fund(米国外株式)」を設定し、ビジネスを広げていきます。以降、ヒーロ氏は同社の中心的なメンバーとして活躍していくこととなります。ハリス社の認知度が高まると、米国の販売会社も増えていき、残高は急速に拡大します。1983年頃は10億米ドル程度の運用資産額でしたが、10年後の1993年には50億米ドルとなり、直近、2024年9月末の資産額は995億米ドルと、規模は大変大きくなりました。その過程で、ハリス社は1995年に米国の資産運用グループ会社であるNvest社(エヌベスト社、旧New England Investment Companies)の傘下に入ります。



オフィス内オブジェ。
お金がルーツの
芸術作品。



オープンな議論が行われる会議室

Nvest社(米国)はのちに買収され、分離統合を経て、フランスの金融グループBPCE傘下のナティクシス・インベストメント・マネージャーズの一員となります。こうしてハリス社は、現在、ナティクシス・グループの資産運用の中核会社として位置づけられています。

創業時から一貫した「バリュー投資」

ハリス社の投資哲学は「バリュー投資」。

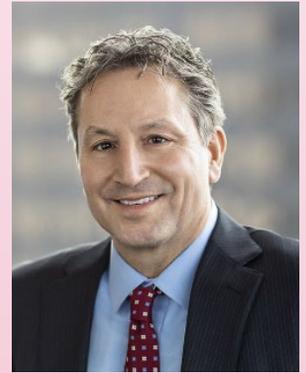
これは自身が運用する全ファンド／プロダクトに共通した哲学で、創業時から一貫しています。

1998年のITバブル時にはIT関連企業の株価上昇についていけず、パフォーマンスが悪化すると、残高は大きく減少します。それでも本源的価値を大きく上回る株価水準のIT企業への投資は行いませんでした。その後、ITバブルが弾けると、ベンチマーク比で高いパフォーマンスを記録します。また2008年の金融危機時には、キャピラーなどの、当時誰も買わなかった企業を長期視点で組入れ、株価は急上昇します。こうした停滞時期を乗り越えて、残高が大きく拡大していきます。

彼らの成功体験は、お客様からの信頼や従業員の自信となっています。

■ハリス・アソシエイツ社 デビッド・G・ヒーロ氏

デビッド・G・ヒーロ氏は、ハリス社の副会長であり、かつ米国外株式CIO(最高投資責任者)です。彼は1985年ウィスコンシン大の修士課程を修了し、プリンシパル・フィナンシャル・グループ ポートフォリオ・マネジャーとして働き始めます。ウィスコンシン州投資審議会のポートフォリオ・マネジャーとして勤めた後、1992年、同年設定のThe Oakmark International Fund(米国外株式)のファンド設定とともに、ハリス社に入社します。彼が担当したファンドの運用は好調で、2007年に米国モーニングスター社「2006 ファンド・マネジャー・オブ・ザ・イヤー(米国外株式部門)」を受賞、2017年にも同社「2016 ファンド・マネジャー・オブ・ザ・イヤー(米国外株式部門)」を受賞します。また、2010年には、同社の「ファンド・マネジャー・オブ・ザ・ディケイド(2000年～2009年の10年間を対象)」を業界の受賞者3名うちの1名として、受賞します。輝かしい経歴とともに、同社の運用資産額を大きく飛躍させ、会社の成長を支えてきた方です。



■ハリス・アソシエイツ社 エリック・リュー氏

エリック・リュー氏は、ハリス社のポートフォリオ・マネジャー兼シニア米国外株式アナリストです。彼は、2001年にカリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)を卒業し、2002年にジェフリーズ&カンパニー インベストメントバンキングにて、アナリストとして仕事をスタートします。その後、バリュー投資で有名なドッジ&コックスで働き、シカゴ大学に通いMBA(経営学修士)を取得します。2009年に卒業し、ハリス社の雰囲気や、質の高い同僚、より大きな責任を持てるハリス社に惹かれ、彼はデビッドに連絡して入社しました。以来、デビッドの下で経験を積み、同社で活躍しています。彼は日本株式のリサーチも兼務しており、来日する際には、日本企業の現地訪問を行っています。



■同社のチームワーク

「オープンに議論を尽くす」ハリス社の特徴の一つです。年齢や経験に関係なく対等な議論をすることが重要と考えています。アナリストは、企業の本源的価値の評価を巡って、時に激しく議論を交わします。厳しさの中にもチームワークが両立する、良好な関係が築かれています。

また銘柄選定会議では、「悪魔の代弁者」という議論の方法が取り入れられています。あえて反対の意見を言う役割を担う人を決めて、見方が偏っていないか、違う視点で議論を進めて検証するものです。個別銘柄の選択過程では、割安な株価がずっと割安なまま放置されるという、「バリュートラップ(割安のわな)」がありますが、こうした議論の仕組みは、“わな”を回避し、パフォーマンス向上につながるものとして、ハリス社の運用プロセスに組み込まれています。

(2024年12月現在)

ハリス・アソシエイツ社

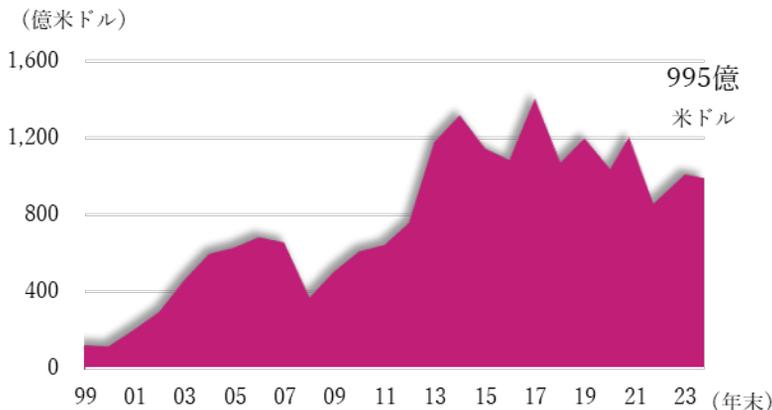
ハリス・アソシエイツ社の投資哲学は、「優れた長期的な運用成果は、『本来の企業価値に比べて株価が著しく割安となっている質のよい企業に、その企業のオーナーとして投資する』ことによって達成される。」というものです。



HARRIS ASSOCIATES L.P.

設立 1976年
 本社 米国 シカゴ
 運用資産 約995億米ドル
 [約14.2兆円]
 特色 バリュウの哲学に基づく株式運用
 従業員 224名
 運用専門職 49名

※2024年9月末現在



出所:ハリス・アソシエイツ社

※2024年の運用資産額については、2024年月9末現在。

ハリス・アソシエイツ社が運用する主要プロダクト(オークマーク・シリーズ)

オークマーク・シリーズ

米国 大型・中型株
 米国 大型・中型株 銘柄集中型
 米国含む世界株式
 米国含む世界株式 銘柄集中型
 米国除く世界株式

純資産総額

約230億ドル (約3兆2,939億円)
 約 66億ドル (約9,526億円)
 約 11億ドル (約1,675億円)
 約 10億ドル (約1,507億円)
 約183億ドル (約2兆6,168億円)

出所:The Oakmark Funds HP

※2024年9月末現在(1ドル=142.73円で換算)

ハリス社は、ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ・エル・エル・シーの一員であり、かつ独立運営されているパートナーシップ制の運用会社です。

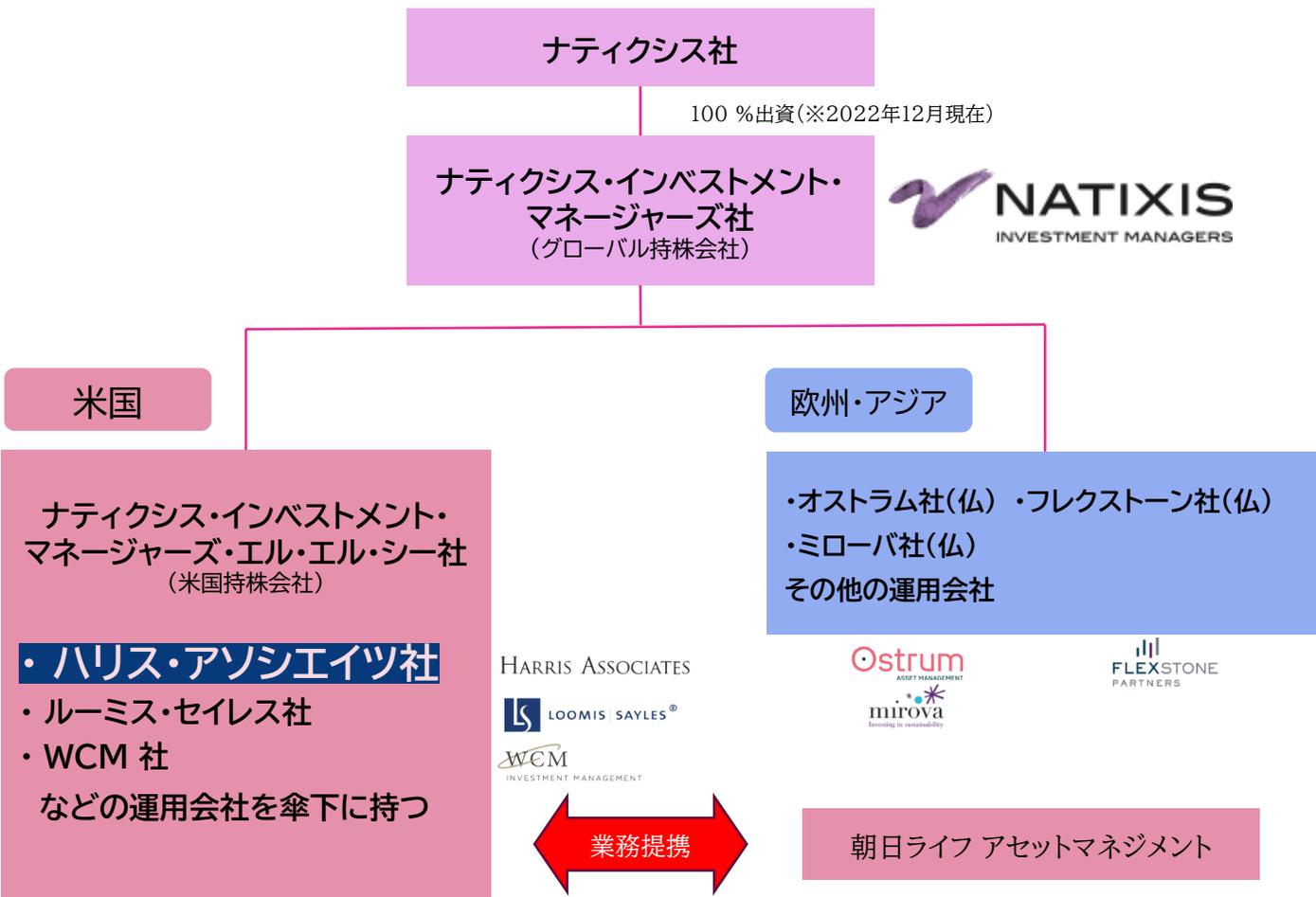
ハリス社が運用する株式ファンド(オークマーク・シリーズ)は、その一貫したバリュウの哲学に基づく優れた実績から、米国の経済誌・個人向けマネー誌などで頻繁に取り上げられています。



※ハリス社のご紹介を目的としたものであり、勧誘及び推奨を目的としたものではありません。

ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ社

ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ社(仏)は、フランスの金融グループであるナティクシス社傘下の資産運用会社であり、グローバルに有力な運用会社を有しています。



ナティクシス社は、フランスの大手金融グループのBPCE社の子会社で、傘下に投資銀行、資産運用サービスなどの会社を持つ金融サービスグループです。

ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ社は、ナティクシス社傘下の資産運用持株会社です。2024年9月末現在約1兆4千億ドル(約204兆円)の運用資産残高を擁する、世界有数の資産運用会社です。朝日ライフ アセットマネジメントは、2019年3月にナティクシス・インベストメント・マネージャーズ社との資産運用面での関係強化を合意しています。

<ハリス社と当社の結びつきについて>

朝日ライフ アセットマネジメント(ALAMCO)は、1999年に米国Nベスト社(現ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ・エル・エル・シー)と業務提携をし、その傘下にある運用会社のプロダクトについて、日本のお客様へ向けてサービスの開発・提供を開始しました。

ハリス社もその1つで、同社の堅固な投資哲学と卓越した運用スキルに基づく株式戦略を日本の投資家のニーズに合致した形で提供しています。

受賞歴

ハリス・アソシエイツ社が運用するファンドの受賞歴をご紹介します。

(※朝日ライフアセットマネジメントが設定する国内籍追加型投資信託)

■ ハリス グローバル バリュース株ファンド(年1回決算型)

※2024年12月17日付でファンドの名称を「朝日Nvest グローバル バリュース株オープン」から「ハリス グローバル バリュース株ファンド (年1回決算型)」に変更いたしました。

2024年	R&Iファンド大賞2024	投資信託20年/外国株式バリュー	優秀ファンド賞
2023年	R&Iファンド大賞2023	投資信託20年/外国株式バリュー	最優秀ファンド賞
2022年	R&Iファンド大賞2022	投資信託20年/外国株式バリュー	優秀ファンド賞
2021年	R&Iファンド大賞2021	投資信託20年/外国株式バリュー	最優秀ファンド賞
2018年	Morningstar Award “Fund of the Year 2017”	国際株式型部門	優秀賞
2015年	リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2015	評価期間10年/株式型/グローバル除日本	最優秀ファンド
2014年	R&Iファンド大賞2014	NISA/外国株式部門	優秀ファンド賞
	リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2014	評価期間5年/株式型/グローバル除日本	最優秀ファンド
	リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2014	評価期間10年/株式型/グローバル除日本	最優秀ファンド
	Morningstar Award Fund of the Decade 2013	国際株式型部門	
2013年	リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2013	評価期間5年/株式型/グローバル除日本	最優秀ファンド
	リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2013	評価期間10年/株式型/グローバル除日本	最優秀ファンド
2012年	R&Iファンド大賞2012	確定拠出年金/外国株式部門	最優秀ファンド賞
	リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2012	評価期間3年/株式型/グローバル除日本	最優秀ファンド
	リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2012	評価期間10年/株式型/グローバル除日本	最優秀ファンド
2011年	モーニングスター「ファンド オブ ザ イヤー 2010」	国際株式型部門	優秀ファンド賞
	リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2011 Equity Global ex Japan	評価期間10年	最優秀ファンド賞
2010年	モーニングスター「ファンド オブ ザ イヤー 2009」	国際株式型部門	最優秀ファンド賞
	リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2010 Equity Global ex Japan	評価期間5年	最優秀ファンド賞
2009年	リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2009 Equity Global ex Japan	評価期間5年	最優秀ファンド賞
2008年	リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2008 Equity Global ex Japan	評価期間5年	最優秀ファンド賞
2007年	リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2007 Equity Global ex Japan	評価期間5年	最優秀ファンド賞
	R&Iファンド大賞2007	投資信託/外国株式部門	優秀ファンド賞
	R&Iファンド大賞2007	確定拠出年金/外国株式部門	最優秀ファンド賞
2006年	Lipper Fund Awards Japan 2006 Equity Global ex Japan	評価期間5年	最優秀ファンド賞
	Lipper Fund Awards Japan 2006 Equity Global ex Japan	評価期間3年	最優秀ファンド賞
2005年	Lipper Fund Awards Japan 2005 Equity Global ex Japan	評価期間3年	最優秀ファンド賞
2004年	モーニングスター「ファンド オブ ザ イヤー 2003」	ルーキーファンド部門	優秀ファンド賞
2003年	モーニングスター「ファンド オブ ザ イヤー 2002」	ルーキーファンド部門	優秀ファンド賞

※2024年12月現在

- 「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。
- 「R&Iファンド大賞」はハリス グローバル バリューストック株ファンド(年1回決算型)が受賞したものです。同じマザーファンドに投資するシリーズ化した、別のベビーファンドに係るものではありません。

■リッパー・ファンド・アワードに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。リッパー・ファンド・アワードは、過去のファンドのパフォーマンスを分析したものであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リッパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません

■Morningstar Award “Fund of the Decade 2013”およびMorningstar Award “Fund of the Year”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※上記評価は、過去の一定期間の実績等に分析等に基づいた評価等であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書・商品説明書)をよくご覧ください。

■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

- 申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限5.5%(税抜5.0%)
 - 換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限0.3%
 - 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 …… 信託報酬 上限2.035%(税抜1.85%)
 - その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。
- 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書・商品説明書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、当社が運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書・商品説明書)をご覧ください。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

- 当資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、当社といいます）が、ハリス・アソシエイツ社の情報提供を目的として作成したものであり、特定の有価証券の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。
- 当資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。
- ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。
- ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。